

「死の商人国家」になるな！

ミサイル作るな 配備も輸出もするな

軍需産業をめぐる動き

- ◆2022年12月:防衛予算をGDP比2%(5年間で43兆円)
- ◆2023年2月~:石垣・宮古に地対艦ミサイル配備、23年度には勝連駐屯地にも
- ◆2023年6月:軍需産業支援法
- ◆2023年12月:ライセンス生産品の輸出解禁
- ◆2024年3月:日本・伊・英で共同開発中の次期戦闘機の第3国輸出解禁
- ◆2024年度予算で、継戦能力を高めるため全国14カ所に弾薬庫建設や弾薬や銃の増産
- ◆2024年6月:日米防衛産業協力・取得・維持整備定期協議(DICAS)設置
- ◆2026年度:能力向上型12式地対艦誘導弾・高速滑空弾を大分県湯布院駐屯地に配備
- ◆2024年6月:2プラス2で、PAC3の売却契約を締結。契約額は30億円。



愛知の軍需産業

名古屋誘導推進システム製作所(三菱小牧北工場)

「敵基地攻撃能力」ミサイルの開発・改良

- ・12式地対艦誘導弾能力向上型(地対地・地対艦)
- ・空対地ミサイルの開発・製造
- ・島嶼防衛用高速滑空弾、極超音速誘導弾、目標観測弾開発
- ・ライセンス生産のパトリオットミサイル(PAC3)をアメリカへ輸出



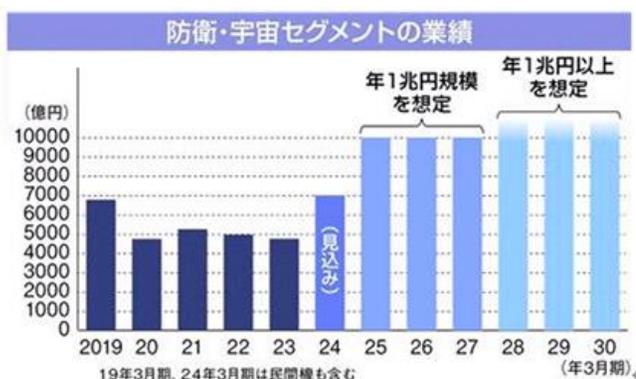
名古屋航空宇宙システム製作所(三菱重工小牧南工場)

- ・次期戦闘機をイギリス(BAEシステムズ)イタリア(グローバル戦闘航空プログラム(GCAP))と共同開発
- ・F35戦闘機の組み立て
- ・F35のリージョナルデポ(整備拠点)



次期戦闘機のイメージ(防衛省)

「肥えたる死の商人」



三菱重工の防衛・宇宙事業は日本政府の防衛力強化の方針を受け、受注高は2023年度比で3倍以上の1兆8731億円。その他、三菱重工・川崎重工・IHIの3社合計で、前年比2.2倍、3兆1800億円！